

議員派遣結果報告書

1	名 称	議会改革を考える～先進事例にまなぶ住民参加・情報公開
2	場 所	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研究所 (JIAM)
3	期 間	令和4年11月1日(火)から2日(水)までの2日間
4		<p>1日目(講義) 「議会改革度調査」から見る地方議会 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村健 事例紹介・演習 住民参加・情報公開を進める取り組み① 徳島県那賀町議会議員・議会改革特別委員会委員長 柏木岳 住民参加・情報公開を進める取り組み② 茨城県取手市議会事務局次長 岩崎弘宣</p> <p>2日目(講義・質疑応答) DX時代における地方議会の展望 早稲田大学 名誉教授 北川正恭 (演習) 各議会における今後の議会改革推進の検討 中村健 (ダイアログ・発表・講評)</p> <p>成果 議員と議会の違い 町の課題解決や未来のことは議会が決めている。 首長は執行権を有し議会は議決権を持つ。 地方議会は「議会」が機能しているかどうかに関心があつてい る。 2000年地方分権一括法が制定され議会の役割が重要にな った。 議会基本条例を制定することで議会自身が役割を認識 2007年の夕張市の財政破綻で議決責任を痛感 2010年東日本大震災 2016年熊本地震 議会の役割・IT化が進んだ。 2020年新型コロナウイルスの脅威 政策政治の重要性 2021年デジタル庁 議会もDX</p> <p>議会改革度調査で重視した点 議会活動が地域経営に貢献するための活動になっているか 急速な社会変化が起こっている中で2021年デジタル庁設置 議会の傍聴する場合受付票に住所、氏名及び年齢を記入しな ければならないのは何故か。太田市議会は記入しなくても良 いとしている。</p>

	<p>長野県高森町は子育て支援に力を入れると総合戦略へ記した。</p> <p>教育委員会と福祉課がやっているが、建設課はやらないのかとの問いかけに対し、建設課と子育てママさんとの意見交換会が始まった。成果として公園の駐車場の白線の引きなおしや、子どもが遊ぶ公園の池の改修につながった。建設課が始めたら他の部署へ波及した。税務課は子育て支援として固定資産税の7年間の減免措置をスタート。上下水道課は、安全・安定・安価な水道にチャレンジ中。</p> <p>所感 当たり前と思われていることに疑問を持つこと。これからは議会力の差で地域に差が生まれる。</p> <p>徳島県那賀町の議会活性化への取り組み</p> <p>平成24年9月 議会改革調査特別委員会を設置。</p> <p>10月 合併前の旧5カ町村の議長から定数と報酬の削減要望が出される。</p> <p>11月 住民から定数削減反対と報酬削減要望提出</p> <p>12月 協議開始</p> <p>平成29年3月 現状維持に決定。若者特例として当選時の年齢が35歳以下であれば報酬額を月額30万円とする案を提案したが、報酬等審議会でも反対の答申を受けた。</p> <p>平成24年度 行政課題、政策立案、行政課題の研修開始 先進地調査</p> <p>平成26年6月 定例会で議員間自由討議の導入</p> <p>平成27年9月 車座会議（意見交換会）実施要領を制定 条令の制定、改正、予算の修正、監査請求、議会アドバイザーの設置(1名) アンケート調査（議会放送に関する調査・新成人に対しまち作りや政治に関する調査を6回実施）</p> <p>テレビ中継 本会議は町営ケーブルテレビにより、生放送と録画放送を実施。広報誌は町の広報誌に会議結果や委員会、全員協議会の活動状況を掲載。庁舎玄関ロビーに議会掲示板を設置。</p> <p>ICTの利活用、パワーポイントを使った一般質問、ペーパーレス会議システムの導入。事務事業評価の導入。</p> <p>議会建築物検討委員会設置を通例化、計画立案と執行段階で自動的に設置と取り決め。</p> <p>議員派遣等に関する要綱の制定、積極的な自己啓発のための研修、先進地調査などを公費で出来るよう制度化。</p> <p>通年議会の導入。議会基本条令の制定（平成29年）</p> <p>議会モニターの設置(平成30年) 議会表彰の実施</p> <p>所感 多くの批判を受けながらも取り組んできた様子が伺える。必死の1人が議会を変えることが出来る事例である。取り入れるべき所多数有り。</p>
--	---

	<p>茨城県取手市議会 住民参加・情報公開を進める取り組み デモテック宣言(造語)の概要</p> <p>①早稲田大学 ②一般社団法人地域経営推進センター ③東京インタープレイ(株)「Side Books」 ④取手市議会・同事務局</p> <p>4者連携によりコロナ禍の中ICTを用いた議会活動が評価され議会改革度ランキング全国総合第1位(早稲田大学マニフェスト研究所調)</p> <p>議会をZOOMにより開催できるようにし、画面に字幕をつけている。360度カメラを導入することにより、議場全体を放映することが可能となった。一般向けにはYouTubeでライブ配信している。会議録視覚化システムを導入、会議録をAIと住民が会議録を作成している。</p> <p>所感 最新のシステムを活用しての議会の取り組みである。実験的要素もありほぼ無料とのこと。オンライン議会を取り組むにあたり条例改正を前もって実施した。町民に開かれた議会となるために取り組む必要を感じる。</p> <p>DX時代の地方議会の展望 首長は公権力を行使し、常識法に照らし執行している。前例を踏襲しているためにはみ出すことはしない。 法律や新しい時代を作っていくのは議会だ。</p> <p>団体自治と住民自治 地方分権法が制定されその後地方分権一括法が制定された。 (国と地方は上下主従関係から対等関係となった。) 自己決定、自己責任 議会基本条例が制定され執行部優位から議会との二元代表制へ移行した。(執行機関と議決機関の対等の関係) 居眠り議会と目覚めた議会、地方は国の下請けではないと気づき改革を始めた議会が増えてきた。 改革の順序は量的削減から始まったが、議会の首を絞めることに気が付いて、質的充実を目指すようになってきた。住民自治の視点が大切である。 チーム議会の視点で議会事務局と一体で議員、議会活動に取り組む。そのために事務局の充実を促す。 良い政策は徹底的にパクルを合言葉に！ 山形県遊佐町の少年議会 西脇市議会の議会報告会(45回/年)</p> <p>所感 地方議会、議員としての権限を与えられているのだから住民自治のために、早く目覚めるべきである。良い政策は徹底してパクリ真似をするべき。という講師先生の言葉が印象的だ。</p>
--	--

	<p>各議会における今後の議会改革推進の検討 議会だよりの改善についてグループワーク(4人) 現状と要因、解決策、結論までまとめる。改善案をまとめて、根拠も説明。</p> <p>所感 現状と要因分析に時間がかかりすぎて最後の方は議論不足。 慣れるまで時間がかかったが、この手法は議会でも取り入れるべき。問題解決に全員の意見を聞くことができる。 2日間の研修であったが、いま現実に必要なことを学べたと思う。</p>
--	--